



『ロスタイルのつづき』（4月26日）を振り返って・・・

三浦和良さん、現役で活躍する日本最年長のサッカー選手です。数々の輝かしい功績を残されていますが、その道のいは決して順調なものではありませんでした。彼はワールドカップをめざし、戦ってきたものの、いまだワールドカップには出場することができていません。しかし49歳を超てもなお、彼の挑戦は続いています。ワールドカップの代表選手に選ばれなかったとき、まわりは冷ややかな対応でした。でも決してあきらめない気持ち、高い理想に向けて努力する情熱に心打たれるものがありますね。みなさんに「夢」はありますか？また、いま自分ができること、しなければいけないことに情熱をもって取り組めているかな？三浦選手の困難や挫折をしっかり向き合う姿、いい刺激になりましたね。

〈みんなの感想より〉

- すぐにダメだと思って、あきらめいたら何も続かないし、あきらめないことの大切さを学びました。少し冷静になって、そこでやめることが大切なときもあるけど、夢を追い続けて、それを叶える良さもあると思った。
- これからは、どんなに挫折してしまいそうなことがあっても、カズ選手みたいに強い気持ち、メンタルをもって頑張っていきたいと思いました。カズ選手があきらめずに頑張り続けられるのは、サッカーを本気でやってきたからだと思うので、自分も今やっていることをもっと本気でやろうと思います。
- 失敗して人のせいにする。自分の身の回りでも責任のなすりつけ合いはよく見かける。自分自身の失敗を人のせいにすることで、失敗から目を背ける。そんなことばかりしていると、失敗から何も学べず同じことを繰り返すだけだと思った。自分の失敗と向き合うことが成功への道だと感じた。
- 挫折や絶望にあっても「もうまっぴら。こんなこと二度としない。」と思うよりも、それをばねにして「もうこんなこと味わいたくない。だから次はもっと努力する。」と思える人の方が、私はいい人生を送っているなと思うし、そんな人になりたいと思う。それが好きだ、やりたいという気持ちは、それが本当ならなかなか消えないものだと思う。そう思えるものに出会いたい。
- 私には「夢」というものがないので、「カズ」がとても輝いているように見えました。私はサッカーが好きで「カズ」のことももちろん知っています。今までに何度も何度も苦い経験をしてきたからか、テレビに映っている「カズ」はとても生き生きしているように見えました。彼の頑張る姿勢から、改めて「夢」を持つことは大切だと感じた。「夢」があると、辛いとき、また前を向けるからです。些細なきっかけでもいいので「夢」を見つけることができるといいなと思います。